

## 「司法書士講座」講座説明会

テーマ：基幹コースカリキュラム/コースガイド

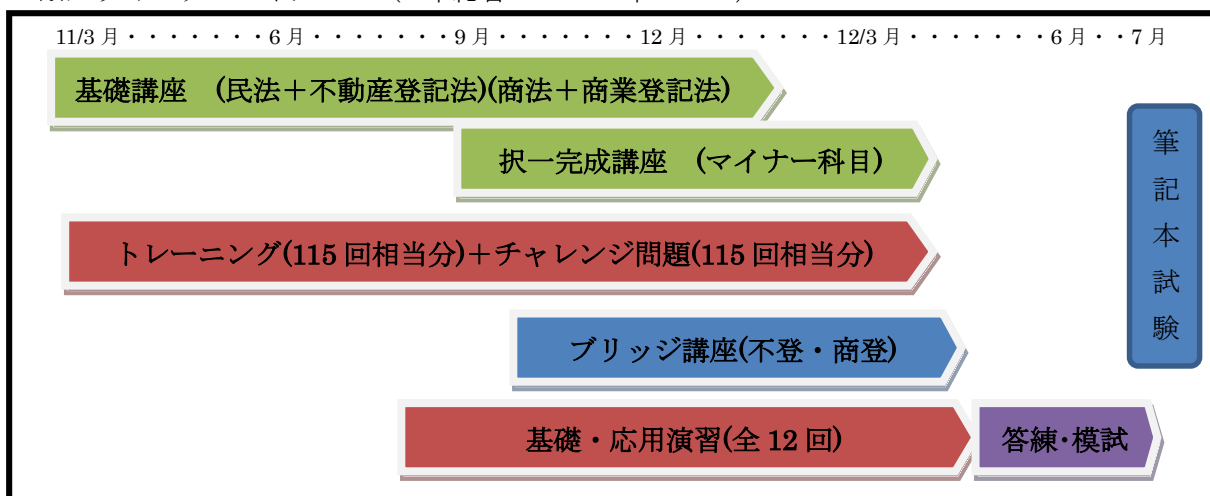
### 1. 講座カリキュラム

今回は、初学者向けの「2012 年合格目標 1 年（総合）コース」の講座カリキュラム及びコースガイドのご説明をさせていただきます。

#### （1）基幹コースのカリキュラムの特徴

～初学者の確実な理解と効率的な学習のための実践的カリキュラム～

※カリキュラムのイメージ（1 年総合コース/1 年コース）



#### ★主な特徴

～TAC/Wセミナーでは、試験の特徴をしっかりとカリキュラムに反映～

##### ◎実践的なインプット

- ①実体法と手続法のリンク ⇒ 「民法/不登法・商法/商登法」を一緒に学習。  
これらを一つの科目として関連付けて効率よく学習し、知識が定着できます。
- ②科目関連を生かしたカリキュラム ⇒ 民法/不登法が終わると、民訴系がスタート。  
既に学習した民法と関連づけて、民訴系科目を学習していきます。
- ③記述式問題は、択一式学習の延長戦にあります。択一の知識を記述の知識に変えながら記述の答案作成能力を身に付けることができます。

##### ◎充実したアウトプット

- ①インプットとアウトプットを、講義の進度に沿って繰り返し学習することで確実な理解を促します。
- ②各回の講義に対応した「トレーニング・チャレンジ問題」で基礎的な問題を解き、段階的なレベルアップが可能となります。
- ③演習では、講義の進度にそった段階的な総合問題を解くことで総合的理解が得られます。

## 2. コースのご案内

### (1) 1 年総合コース・1 年コースについて

#### ★「1 年総合コース」の内容

以下のインプット講座と演習等で構成されています。

- ① **基礎講座(全 84 回)**～主要 4 科目をシッカリ学習いただく、インプット講座です。
- ② **択一完成講座(全 31 回)**～マイナー科目を学習するインプット講座です。マイナー科目は、主要科目との関連が高い科目もあり、主要科目がある程度進んだ段階で、主要科目と並行して学習していきます。
- ③ **トレーニング・チャレンジ問題(各 115 回相当分)**
- ④ **ブリッジ講座(全 25 回)**～記述式問題を解くためには、択一式と記述式の知識を連動させること、及び実体法と手続法の知識を連動させることが重要です。
- ⑤ **基礎・応用演習(全 12 回)**～講義の進度に合わせ、各段階でアウトプットの訓練が可能。また応用演習では、総合的に知識(実力)を試すことが出来ます。
- ⑥ **早稲田合格答練(ジャンプコース全 8 回)＋全国公開模試(全 3 回)**～本試験直前期のアウトプットの訓練と知識の整理をすることが出来ます。

#### ★「1 年コース」の内容

このコースは、前項の「1 年コース」に早稲田合格答練ジャンプコース(全 8 回)と全国公開模試(全 3 回)を除いたコース設定で、教育訓練給付制度の指定コースです。

### (2) 選べる受講スタイル/フォロー制度等

#### ●受講スタイル

##### ★通学科～教室講座・ビデオ(DVD)講座

教室講座は、全国 16 拠点で実施しております。

##### ★通信科～DVD 通信講座・Web 通信講座

●TAC/Wセミナーの司法書士講座は、通学生は無料で「Web フォロー(音声 DL 付き)」が受けられます。司法書士講座の Web フォローは、教室講座の一週間後から(一部変則)視聴開始できるようになっております。また通信生の方は、無料で音声 DL フォローが受けられます。尚フォロー講義は、渋谷校土屋クラスの収録講義となります。

●同じコースであれば他校舎の「教室講座」に、自由に「振替受講」することが可能です(無料)。あるいは、フォロー用 DVD もご予約いただいて視聴することが出来ます(有料)。

## 3. その他のコースのご案内

●2012 年合格目標のコースとしまして、以下の特別コース」をご案内しております。

「竹下コンプリート」・・・竹下貴浩講師が全講座を担当します。

「山本オートマチック」・・・山本浩司先生が全講座を担当します。

詳しくは、専用のパンフレットをお取り寄の上ご確認ください。

以上が、2012 年合格目標「1 年コース」のカリキュラム及びコース概要です。